

シニア便り

第30号(2015年7月発行)
発行：北海道シニア吹奏楽団・事務局
編集：シニア便り編集部

2015年度通常総会報告

事務局長 伊藤英明

○新入団員のごあいさつ

ホルン 芝田啓二

シリーズ：団員のことをもっと知ろう！

阿部 勝

田中 綾子

シリーズ：シニアのルール解説(Q&A)

コンプライアンス委員会 鈴木隆起

2015年度定期総会報告

事務局長 伊藤英明

去る、平成27年5月17日(日)中村屋旅館・春日の間において2015年度定期総会が開催されました。

冒頭、中村団長から「昨年度は旧役員、実行委員会、事務局、そして団員の皆様のご協力により定期演奏会を始めとして様々な行事を滞りなく行うことができた。また、規約の全面的な改正を行い、団の運営はこれまでの役員会から運営委員会に変わったが、これは画期的なことだ。団が創立されて満22年、創立当時の団員はほとんどいなくなり、新しい団員の方々が増えていることもあって、団に対する考え方や想い等の多様化や世代間での考え方の差も出てきている。これらのことから、長年の慣習による団運営が難しくなってきたことが規約改正の発端である。今後は運営委員を中心にして、皆さんの意思を結集して団の発展に向けた運営にあたって頂きたい。団の設立の趣旨は「技術向上のみに偏らず仲間

との親睦を深める」ことが大きな目的である。団員は、今一度このことを噛みしめて今後の活動に当たって頂きたいと思う。」との挨拶がありました。

次に、総会の成立確認(総会出席者20名、委任状提出者が18名、合わせて38名は5/17現在の団員数39名の2/3を超えており、総会は成立。)を行い、トランペットの古川氏を議長に選出して議案審議に入りました。(審議の詳細は省略します。)

事務局長から議案第1号「平成26年度の事業報告」、議案第2号「平成26年度決算報告」について配付資料を基に報告があり、決算について廣瀬監事から「適性に処理されており、問題はありませぬ」と監査結果について報告されました。また、第21回定期演奏会の実施結果について、実行委員会(トロンボーン・パート)の太田氏から概要について報告されました。

質疑は特になく、議案第1号、議案第2号ともに拍手多数により承認されました。

引き続き、議案第3号「平成27年度の事業計画」について資料を基に事務局長から説明されました。また、第22回定期演奏会の実行委員会・横山氏から現在の進捗状況について報告がありました。

「平成27年度の事業計画」では合宿練習を提案しましたが合宿練習は初めての試みであることから、別紙の計画案に基づいて説明がされました。「普段の練習では難しいパート別練習の実施と、団員相互の親睦」を目的として6/27~6/28の1泊で岩見沢市北村の自然体験宿泊学習館「ぱる」にて実施する。また、少しでも大勢の団員が参加できるよう、子供連れ参加、日帰り参加など柔軟な対応を行う。参加経費については参加者の負担とし、施設使用料(宿泊施設使用料含む)や、寝具レンタル、懇親会経費などを含めて1人につき約3,000円とすること等が説明されました。

審議の中で「合宿施設へのパーカッションの運搬をどうするのか」の質問があり、「パーカッションパートの参加者によって、運搬楽器を決める。団員の乗用車での運搬を基本に

考えているが、量が多い場合はトラックなどの手配は考える。」と説明がありました。合宿について単独に採決が行われ、拍手多数により合宿の実施は承認されました。

次に、議案第4号「平成27年度予算案」について事務局長から配付資料を基に説明がありました。収入は、例年の団費収入予算は団員を50名として100万円で計上していたが、本年度は4月1日現在の団員数が40名なので厳しく見積もり80万円で計上した。定期演奏会収入はチケット収入を23万円、協賛広告収入を12万円とこちらも厳しく見積もり、全収入は昨年度からの繰越金も含めて1,782,168円を計上した。

支出についても、収入が減少した分、少な目に厳しく計上した。との説明がありました。議案第3号「平成27年度の事業計画」、議案第4号「平成27年度予算案」共に、特に質問もなく拍手多数で承認されました。

その他として、今年度中に議論を進めなければならないと思われる課題について鈴木副団長から説明がありました。

1.定期演奏会チケットのノルマ制について、現在は団員に5枚程度の自主販売をお願いしているが、まれに全てを返却する団員がいるなど、団員からは不公平感がでてきていた。今後、運営委員会で議論を進め、定期演奏会までには方向性を出したい。

2.定期演奏会の予算について、規約では「行事の財源はその行事から得る収入で賄うことを基本とする」ことになっているが、チケット収入、協賛広告収入ともに頭打ちの状況であり、最近の定期演奏会では団費会計から20万円程度の補填を行っているのが現状である。チケット代は500円で良いのか？等、上記のチケット・ノルマ制と併せて議論を進め、必要であれば総会を開いて決めなければならない。

3.コンプライアンス委員会について、約1年前に団員間のトラブルがあり、本委員会を設けたが、現時点ではトラブルも無く落ち着いた状況である。今後の活動については、コ

ンプライアンスの定着を計ることである。

4.賞罰委員会については、対象となる賞罰や表彰の時期について決めなければならない。

なお、各委員会のメンバーについては4月の運営委員会で次の方々に決まりました。

コンプライアンス委員会：

鈴木副団長、伊藤事務局長、藤田運営委員
賞罰委員会：

中村団長、鈴木副団長、伊藤事務局長
島田運営委員、菊田運営委員

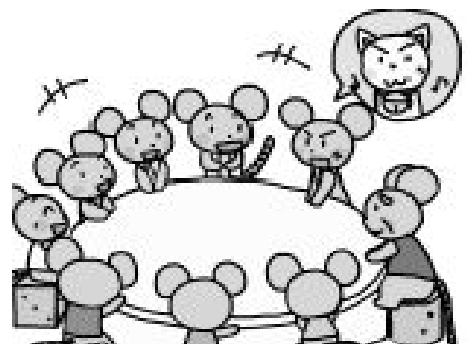
監事：

吉川運営委員、藤田運営委員

次に、議案第5号「慶弔見舞金規定の見直しについて」鈴木副団長から説明がありました。

現在の「慶弔見舞金規定」は、項目が「結婚祝金」「出産祝金」「弔慰金」「見舞金」「退団者への記念品」「その他必要と認めるとき」と多岐で、今の社会通念にそぐわない部分が多い。このため、人生の3大行事と云われる「結婚」「出産」「死亡」に絞って慶弔とし、金額の目安としては「結婚」「出産」については10,000円以内、「死亡」については10,000円以上に改正したい旨の説明がされました。

「慶弔見舞金規定の見直しについて」について、質問もなく拍手多数で承認されました。審議事項は以上で終わり、「楽器・備品等財産管理について」事務局長から報告があり、昨年度購入した楽器「ティンパレス」と「23インチ・ティンパニー」については財産目録に加え、また「スリッパ」「ゴム印」などの消耗品は目録から削除したとの報告がありました。以上で予定されていた全ての審議事項について終了し、古川議長は拍手をもって解任され、2015年度定期総会を終了しました。



新入団員のごあいさつ

ホルン 芝田啓二

生まれは長野県安曇野市豊科町です。父の仕事の関係で転居を何回もしましたが、就職後の浜松が一番長く住んでいました。

昨年6月末に、静岡県浜松市より家内の出身地札幌に移住して来ました。

楽器は3歳の頃バイオリン(頓挫)中学時代アルトサクソ、... 高校でクラリネットを希望するもアルトホルンに配属され、後にフレンチホルンとなり吹奏楽団やアマオケに所属していました。ここ約10年ホルンから離れていました。ボケ防止対策としてバンドネオンを時々弾いて楽しんでいます。

以前の仕事は河合楽器製作所にて音楽教室関連の仕事をしていました。退職前の10年間は東京に単身赴任していました。2011.3.11大地震はビル5階で会議中大揺れを体験しました。

趣味は燻製作りです。ベーコンやソーセージの他に札幌はスモークサーモン作りが出来るので嬉しいです。

現在家内と二人暮らしのため、定例飲み会に毎度参加は出来ませんが決してアルコールが嫌いな訳ではありません。よろしく願いいたします。



団員のことをもっと知ろう！ #009

トランペット 阿部 勝

今回のご登場は、トランペットパートの阿部勝さんです。阿部さんは、第4回定期演奏会から参加。ご本人自身は入団届を書いていない不思議な入団エピソードの持ち主です。血液型はのんびり屋さんのO型の阿部さんにいろいろ伺いました！（編集部 記）

名前の由来 祖父が人生に“勝つ”様にと付けてくれたが、未だに勝てない...

音楽以外の趣味 ドライブ&旅行。

仕事 定年退職もいまだにバスの運転手。

好きな本 ドラえもん。

好きなミュージシャン モーリス・アンドレ(Tp奏者)

彼女にしたい団員 旧姓 佐藤 薫さん。

私の意外な一面 真面目??

自分をたとえるなら 大太鼓。(いつもドンとかまえてソファを温めているから)

今迄のアクシデント 多すぎて書けない。

これからの夢 幼稚園バスの運転手。やっぱり運転手だぁ！。

出身地 札幌駅北口から3分のシティボーイ。

自分の性格 自分で言うのもおかしいが、温厚。



団員のことをもっと知ろう！ #010

フルート 田中綾子

ついにこのコーナー10人目達成しました!!その記念すべき10人目のご登場は、フルートの田中さんです。田中さんは第10回目の定期演奏会から入団されています。おうし座・A型・亥年の田中さんにも色々質問してみました。(編集部 記)

シニアでこんなことやっています: フルートパートのパートリーダー。

音楽以外の趣味: 最近セルフジェルネイルにはまっています。あと時間があれば一人旅も好きです。

仕事: 水産仲卸の事務

好きな本: 有川浩とか...? マンガはよく読みます！。

今やっている楽器以外でやってみたい楽器: リコーダーとかケーナとか... 結局笛で

すが...

今の楽器を選んだ理由：見た目と音色に子供のころからあこがれてました。

自分を例えるならこの楽器：少なくともフルートではない。目立ちたくないし。

今まで本番であったアクシデント：ソロの人が終わったら入るんだったのに、どこで終わるのかわからなくてパート全員でソロ終わる前に吹いちゃって、みんなですっと伸ばしてました...汗。

これからの夢や目標：よく響く音が出したいです。あとそろそろ新しい楽器が欲しくなってきたなあ...

出身地：生まれてから札幌市東区を出たことありません。

自分の性格：負けず嫌いだけど頑張りたくない人。

好きな音楽のジャンル：笛が好きなのでアイリ

ッシュとかの民族音楽を結構聴きます。



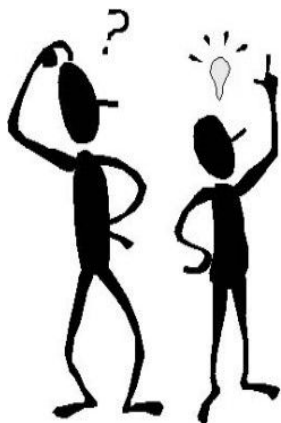
新コーナー

シリーズ：なるほどQ&A (その1)

<シニアのルールを分かり易く解説! >

Q1：今年の規約改正はどうして行われたの？

A1：H27年2月にシニアの規約と細則が改正されました。最初の規約制定から20年以上が経過し、これまでも何度か改正されてきましたが、実際に行われている団員の活動やルールとの間に多くの違いが生じてきたため、これを機にいろいろなルールを整理し、矛盾があるものに



については見直ししながら、規約とその細則に集約したものです。

Q2：規約や細則以外にルールはあるの？

A2：以前は、規約や細則以外に通達や役員会で決めたルールなどが混在して運用されてきました。そのため、個々の団員がそれを把握して実行するには複雑過ぎ、うっかりルールと違う行動を起こしてしまったり、団員間の不公平を生む原因にもなったりしていました。

これを防ぐため、H27年2月の改正では、既存の全てのルールを規約又は細則に盛り込んであります。したがって、一部マニュアル化してあるものを除き、現在の規約及び細則以外にルールを定めたものはありません。

万が一、規約などに定めてあるもの以外の事柄を新たにルール化する場合も、運営委員会さらには総会に諮って規約などに盛り込むことにしています。

(文責：鈴木隆起、
監修：コンプライアンス委員会)

=====

編集余録

=====

今回より、新コーナーの「シニアのルール解説！」はいかがでしたか？皆さんからシニアのルールに関してのご質問も募集していますのでよろしくをお願いします。次回は合宿の様子もお伝えしたいと思います。(高橋由美)

新入団員のごあいさつや団員のことをもっと知ろう！のコーナーは毎回楽しいですね。「過去のシニア便り貰い忘れた！」という方や読み返したい方、バックナンバーもホームページからご覧になれます。(長土居梨那)

原稿を募集しています。音楽に関することでこんなことを知ってほしいなど、お気軽に編集部までお知らせください。